

株主の
皆様へ

『鶴ヶ城』

鶴ヶ城は今から約630年ほど前に、葺名直盛が東黒川館を築いたのがはじまりと言われ、戊辰戦争では約1ヶ月に及び激しい籠城戦に耐えた難攻不落の名城として、その名を天下に知らしめました。

明治7年に取り壊されましたが、昭和40年に再建、平成13年には天守閣に続く建物「干飯櫓・南走長屋」が江戸時代の工法・技術を用いて復元、平成23年には赤瓦への葺き替えが完了し幕末当時の姿を再現しました。

天守閣の内部は郷土博物館となっており会津の歴史に触れることができます。

(引用：会津若松市戊辰150周年記念事業ウェブサイト)

第51期第2四半期

株主通信

平成30年 春号

平成29年10月1日から
平成30年3月31日まで

【個人投資家の皆様へ】

詳しくはホームページをご覧ください。



ふくしまから
はじめよう。



株式会社アサカ理研

Top Message

代表取締役社長 **山田 慶太**



株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成30年9月期第2四半期における当社の事業概況、および今後の見通しについてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や業況感が改善基調を維持していることや、個人消費が雇用・所得環境の改善を背景として増加傾向にある等、緩やかな回復を続けました。

一方、海外経済においては、政策に関する不確実性や、金融資本市場の変動の影響等により、景気が下ブレするリスクを含有しており、経済全体に対する先行きは不透明な状況となっています。

このような環境の中、当社の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野の生産は全体として前期を上回る水準となりましたが、海外のスマートフォン生産の減速の影響により、当社の主力製品の金の取扱量は前期をやや下回る水準となりました。

一方、貴金属・銅の価格は前期を上回る水準が継続したほか、前期実施したレアメタルリサイクル実証事業の投資

がほぼ完了したことから研究開発費が減少したこと、製造工程の自動化等効率改善により、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

新たに推進しているレアメタル・レアアース事業では、販売を開始している光学ガラス向け原料のほか、電子部品向け原料の開発と取引先での評価試験を実施しております。

顧客の認証が進み販売先が拡大したものの、対象製品の需要が当初の予想より減少しており、今期の販売は不透明な状況となっております。

対象製品の需要動向により目下では苦戦を強いられておりますが、回収率や処理コストの低減などの技術開発を進め、早期に業績へ貢献できるよう事業を推進してまいります。

当社では、引き続き新たな技術開発に挑み、また既存事業の効率改善を継続することで、企業体質の強化と安定した成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の概況

【当第2四半期連結累計期間は増収増益】

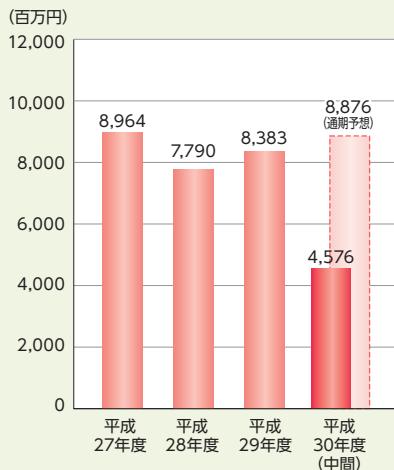
売上高は4,576百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。営業利益は、売上高の増加のほか、前期実施したレアメタルリサイクル実証事業の進展から研究開発費が減少したこと等により、前年同四半期を上回る238百万円（前年同四半期比251.0%増）となりました。

経常利益は250百万円（前年同四半期比335.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は191百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

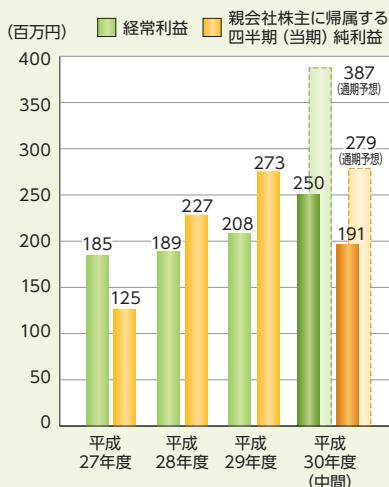
【業績の見通しについて】

通期の連結業績予想においては、上期業績を押し上げた貴金属および銅の相場の先行きが不透明であることに加えて、下期に予定していたレアメタル量産販売は、顧客の認証が進み販売先が拡大したものの、対象製品の需要が当初予想より減少しており、今期の販売が不透明なことから、当初予想から修正はありません。

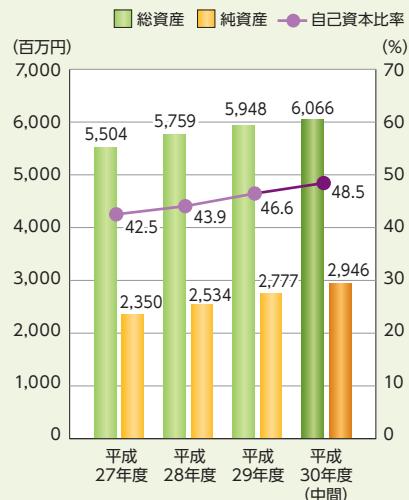
■ 売上高



■ 経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■ 総資産、純資産、自己資本比率



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (平成30年3月31日)	前期末 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,248	1,257
受取手形及び売掛金	389	401
棚卸資産 ①	955	763
その他	157	207
固定資産		
有形固定資産	2,992	3,002
無形固定資産	24	24
投資その他の資産	297	291
資産合計	6,066	5,948

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (平成30年3月31日)	前期末 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債	1,508	1,485
固定負債	1,611	1,686
負債合計 ②	3,120	3,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	504	504
資本剰余金	354	352
利益剰余金	2,073	1,920
自己株式	△ 9	△ 13
その他の包括利益累計額	17	8
新株予約権	1	2
非支配株主持分	4	2
純資産合計	2,946	2,777
負債純資産合計	6,066	5,948

Point ①

棚卸資産は、主に貴金属事業において増加しております。

Point ②

負債合計は、主に借入金の返済により51百万円減少しました。

Point ③

主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益の250百万円と減価償却費の111百万円です。
主な支出要因は、たな卸資産の増加額188百万円です。

Point ④

主な支出要因は、有形固定資産の取得による129百万円です。

Point ⑤

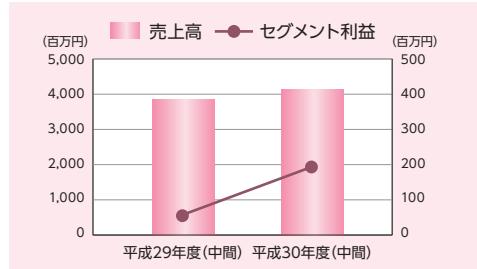
主な支出要因は、長期借入金の返済の101百万円と配当金の支払額の38百万円です。
主な収入要因は、短期借入金の純増額28百万円です。

主なセグメントの状況

貴金属事業

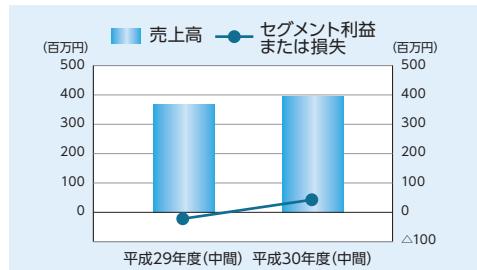
金の取扱数量は前期をやや下回る水準となりましたが、貴金属相場が前年を上回る水準で推移したことから、売上高は4,132百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

セグメント利益は、研究開発費の減少のほか、製造工程の自動化等による効率改善により、194百万円（前年同四半期比242.7%増）となりました。



環境事業

主力製品である銅ペレットおよび薬品の販売数量が前期を上回り、銅の販売価格も前期を上回ったことから、売上高は394百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は、研究開発費の減少もあり43百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。



■ 四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成29年10月1日～ 平成30年3月31日)	前第2四半期 (平成28年10月1日～ 平成29年3月31日)
売上高	4,576	4,283
売上原価	3,659	3,473
売上総利益	916	810
販売費及び一般管理費	678	742
営業利益	238	68
営業外収益合計	25	12
営業外費用合計	14	22
経常利益	250	57
特別利益合計	—	159
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	250	216
法人税等合計	56	47
四半期純利益	193	169
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△ 2
親会社株主に帰属する四半期純利益	191	171

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成29年10月1日～ 平成30年3月31日)	前第2四半期 (平成28年10月1日～ 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ③	244	△ 184
投資活動によるキャッシュ・フロー ④	△ 136	42
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑤	△ 120	432
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 8	290
現金及び現金同等物の期首残高	627	736
現金及び現金同等物の四半期末残高	618	1,026

経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定されました。

経済産業省は、平成29年12月22日に地域経済牽引事業の担い手の候補となる地域の中核企業として「地域未来牽引企業」に選定した2,148社を公表いたしました。

「地域未来牽引企業」は、経済産業省が実施する地域中核企業の創出・支援に向けた政策のひとつで、今後の地域経済を牽引することが期待される企業を「地域未来牽引企業」として選定するものです。

また、その他の地域を牽引する事業プロジェクトを積極的に行う企業と併せて、その成長を総合的に支援することにより、日本経済の成長力向上を図り経済の活性化を目指すものです。

平成30年4月14日に福島県会津若松市で開催された『地域未来牽引企業サミットin会津若松』において、世耕経済産業大臣より「地域未来牽引企業」の選定証が山田慶太社長へ直接交付されました。

当社はこの選定を受け、地域経済を牽引する企業のひとつとして積極的に事業活動に取り組み、地域経済の活性化へ尽力してまいります。



地域未来牽引企業

外壁・ガラス用光触媒コート剤 Tioit ティオイト

以前より、防汚・空気浄化などさまざまな効果を持つ「光触媒」を使用したコート剤を販売していましたが、より親しみを持っていただけるよう、新名称を「ティオイト」にリニューアルいたしました。

「ティオイト」は、塗布した外壁やガラス面に膜を作り、光触媒の分解力・親水力によるセルフクリーニング機能で、建物を長時間美しく保つことができます。

どうして「キレイ」が続くの？

「ティオイト」光触媒作用の仕組み

光触媒の分解力

酸化チタンに光が当たると空気中の酸素や水分と反応して、「活性酸素」が発生。この活性酸素が有害物質や菌を分解してくれます。

光触媒の親水力

酸化チタンに光が当たると空気中の酸素や水分と反応、「親水性」の膜ができます。この膜は非常に水となじみやすいため、汚れを浮かし洗い流しやすくしてくれます。

ティオイト3つの特徴

長年の研究で機能性アップ

【高性能】

ティオイトは単なる酸化チタン光触媒ではなく、さらに機能を上げた新しい光触媒水溶液です。酸化チタン構造部分で光触媒機能を。酸化ケイ素構造部分で親水性を。過酸化結合構造部分で可視光域吸収機能を発揮します。

外壁やガラスに最適

【高透明性】

有機原料を使用しているため、酸化チタン以外の不純物は塗布後薄れます。このため塗布膜の透明性が高く、外壁材の風合いやガラスの透明度を損なうことなくコートすることができます。

1層コートも可能

【高施工性】

塗布基材に対して汎用性があり、一部の撥水性基材を除き、有機バインダーが不要なことから、また1層コートも可能なことから、現場での塗布作業が軽減できます。

Information (平成30年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	昭和44年8月25日
資本金	504,295,600円

事業内容

- ①貴金属事業 / 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理および販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生および販売
- ②環境事業 / 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売、光触媒の製造・販売
- ③システム受託 / 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発および販売
- ④その他の事業 / 工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

役員

代表取締役社長	山田 慶太
取締役執行役員	佐久間良一
取締役執行役員	山田 浩太
取締役	佐久間幸雄
取締役(監査等委員長)	野納 敏展
取締役(監査等委員)	熊谷 巧
取締役(監査等委員)	三崎 秀央

(注) 取締役(監査等委員)熊谷巧氏および三崎秀央氏は、社外取締役であります。

株式の状況

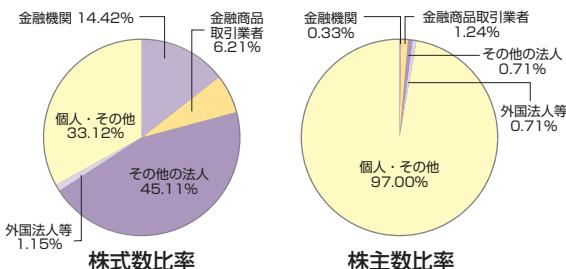
発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株 (自己株式17,161株を含む)
株主数	2,101名

大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	1,051,030	41.13
株式会社常陽銀行	90,000	3.52
株式会社東邦銀行	81,100	3.17
日本生命保険相互会社	72,500	2.84
白岩 政一	50,400	1.97
第一生命保険株式会社	50,000	1.96
東京中小企業投資育成株式会社	50,000	1.96
株式会社一六商事ホールディングス	40,000	1.57
株式会社新生銀行	33,400	1.31
日本証券金融株式会社	31,400	1.23

(注) 当社は自己株式(17,161株)を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(17,161株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京証券代行株式会社
配当金受領 株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日	同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL:0120-49-7009(通話料無料)
定時株主総会	毎月12月	上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asaka.co.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行が口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



写真提供：うつくしま観光フォトライブラリ

—— 会津まつり 会津藩公行列 ——

会津まつり最大のイベント！総勢約500名で繰り広げる時代絵巻！

敵かに行われる先人感謝祭のあと、いよいよ会津まつり最大のイベント「会津藩公行列」の幕が開きます。

「会津藩公行列」は総勢約500名で構成され、武者姿で練り歩きます。鶴ヶ城本丸にて出陣式が行われ、行列はまちなかへ出発します。各所では奴隊による毛槍による所作も披露され、沿道を埋め尽くす観客の声援の中、祭りはクライマックスを迎えます。

(引用:会津若松観光ナビ)

福島の旅が丸わかり!!

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま7階）

TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087